

The Practice of Basic Informatics 2019

—自学自習に配慮した情報系演習科目の英文教科書—

Hajime Kita, Yumi Kitamura, Hirohisa Hioki, Hiroyuki Sakai, Donghui Lin
Kyoto University

概要：京都大学の教養共通教育では主要な科目について日本語と英語の両方で提供している。科目「The Practice of Basic Informatics」は ICT スキルの養成を担う科目として多くの学部が受講している「情報基礎演習」の英語での開講科目である。本教材は主に文科系を対象に授業と授業時間外の学習の円滑な実施を意図して自学自習が可能なように配慮して編集されている日本語版教科書の英訳である。

1 教科書の目標

本教科書は京都大学の全学共通科目情として英語で実施されている「The Practice of Basic Informatics」の教科書 2019 年度版である。同科目はいわゆるコンピュータリテラシーを中心に ICT スキルの養成を担う日本語での開講科目「情報基礎演習」の英語での開講科目として位置づけられている。

同科目の目標は以下の 3 点に設定されている：

- 1) アカデミックな活動に必要な ICT スキルの獲得
- 2) 自立した ICT ユーザとなること
- 3) ICT スキルを自主的、継続的に獲得する自学自習能力の獲得

このうち 1) については、大学でのレポート作成など学術的な用途に絞って Office ツールの利用法を解説している。2) については、ノート PC の個人所有や、自宅でのネットワーク接続にも配慮して、OS やネットワークについて説明している。

扱う内容は、授業中、授業外学習の両方を支援するため、教科書を参照しながら各自で演習に取り組めるように執筆されており、目標 3) も意識して多めの内容を取り上げている。

2 教科書の構成

本教科書は以下の各章で構成されている

0. Foreword

1. Aims, Assessment and How to Study for This Course

2. Computer Basics

3. Basics of Information Networks

4. What is Intellectual Production?

5. Academic Information Seeking

6. Data Processing with a Spreadsheet (1)

7. Data Processing with a Spreadsheet (2)

8. Data Processing with a Spreadsheet (3)

9. Writing Structured Documents

10. Inserting Figures and Tables into Documents

11. Handling Mathematical Expressions in Documents

12. Think Presentation

13. Basics of Programming

14. Afterword

Appendix 1 Acronyms

Appendix 2 Assessment Criteria

このうち、5. は大学図書館の利用を、6.~8.では、表計算ソフトによるデータ入力と集計、シミュレーション、グラフの作成を扱っている。また Acronyms では頻出する ICT 領域の略語を説明し、Assessment Criteria ではルーブリック形式の評価基準を掲載している。

3 公開

同教科書にはクリエイティブコモンズライセンス (CC BY-NC-ND) を付与して公開を可能としている。